

安平町復興ボランティアセンター

～みんなをつないで、未来へつなぐ。～



社会福祉協議会と協力し、安平町全域の被害状況、町民からのニーズを共有

復興ボラセンでは社会福祉協議会と協力し早急に「災害ボランティアセンター」を稼働させ、地震直後から活動を開始しました。まずは大まかな安平町内の住宅、家屋等の現地調査を実施。翌日 22 日(金)には 11 人、23 日(土)には16名のボランティアが安平町に駆けつけ、今回は役場や自治会とも連携を取り合って単身で住宅に住まわれている高齢者の方を中心に「ヒアリング調査」を行いました。ヒアリングの結果、住宅や家屋にはあまり大きな被害は確認されなかつたものの、追分地区の方では「今回の地震の方が怖かった。9月6日のこともあり、もう精神的に辛い。」といった言葉もあり、町民の方々が精神的に疲弊してきているのを実感しました。

そこで、今後復興ボラセンでは、町民の方一人ひとりと向き合って復興ボラセンのテーマである「1人も置いていかない。」の実現に向けて動いていきます。具体的には災害ボランティアセンターで行なったような「全戸調査」を行う予定ですが、今回は、各自治会や役場と連携を取り、あくまでも”町民主体”となるような活動にしていきたいと考えています。こうした状況だからこそ、町民一人ひとりが細かいコミュニケーションを取り合っていくことが絶対に必要です。自分たちを支えあって今後の安平町の復興を歩んでいきましょう。 今後、安平を変えていくのは、”あなた”です。

8000人の笑顔プロジェクトをサポートしました！



3/3(日)せいこドームでの撮影会時の早小6年生の写真

早来小学校 6 年生 26 人が 10 月の終わりから取り組んでいた ”8000人の笑顔プロジェクト”。このプロジェクトが 3 月 12 日(火) 早来小学校体育館にて行われた活動報告会をもって無事完結しました。

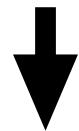
”地震直後” から 動く。

2月21日(木) 21時22分頃、北海道胆振東部を震源とする地震が発生。安平町でも最大震度 5 強を観測し、またも日本中に衝撃が走りました。昨年 9 月 6 日に発生した「北海道胆振東部地震」から約半年で起きた今回の地震。



ヒアリング調査前の事前打ち合わせ

復興ボランティア 大募集！



今、安平を変える時。

復興ボラセンでもSNSによる情報発信や、町内全域へのチラシ配布、世界各国から集まった画像の処理、編集などの作業に協力させていただきました。

最終的に集められた笑顔はなんと
“34,876”人！！

この 26 人にしかできない経験をし、大きな影響力を持つプロジェクトを成し遂げた早来小 6 年生を心から尊敬します。

**勇気と感動を
本当にありがとう！！**

(一社) 安平町復興ボランティアセンター
Mail : abira.fukkouborasen@gmail.com
TEL : 070-3139-0374